

# 新築病院視察の報告

船橋市立医療センター

# 視察日程

- 平成29年8月17日(木)～18日(金)

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター—岡山市立市民病院  
兵庫県立尼崎総合医療センター

メンバー: 高原参与、丸山院長、境田救命救急センター長、伊藤副院長、  
海老根総務課長、医事課新島主査、健康政策課手束主事

- 平成29年8月21日(月)～22日(火)

大崎市民病院  
石巻赤十字病院

メンバー: 高原参与、丸山院長、境田救命救急センター長、  
武村副看護局長、医事課菅谷主任主事、健康政策課市東係長

地方独立行政法人  
岡山市立総合医療センター  
岡山市立市民病院

## 【病院概要】

- 平成27年5月 新病院開院
- 病床数：400床（一般387床、結核病床7床、感染病床6床）
- 手術室：7室
- 敷地面積：18,584.52m<sup>2</sup>
- 建築面積：7,025.74m<sup>2</sup>（病院本体）
- 延床面積：34,387.67m<sup>2</sup>（病院本体）
- 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）  
地上8階建、屋上ヘリポート

## 【診療機能等】

- 診療科：29科

内科、消化器内科、呼吸器内科、アレルギー科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、心療内科、精神科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科、病理診断科、救急科

- 7対1看護配置

- 主な病院機能：二次救急（病院輪番群制）、地域医療支援病院、地域がん診療推進病院、災害拠点病院、臨床研修病院

# 地方独立行政法人岡山市立総合医療センター—岡山市立市民病院

## 良かった点

外来

- 駅の改札フロアから病院2階（一般外来総合受付）にペDESTリアンデッキで直結。また、反対側は立体駐車場に直結
- 1階に夜間救急入口、バス来院者用入口あり。2階へエスカレーター、EVで結ぶ
- 各エリアで受付を行う。予約システムが機能しており、受付、会計ともに待っている人は少ない
- 医事課と地域連携室の壁を取り払う改修工事をし、PFMセンター（入院支援センター）を新設

病棟

- 20:15以降、EVにロックがかかる
- 各階に薬剤師ブースがある

救急・手術室

- 屋上ヘリポートから直通EVあり（発災後30分以内に復旧可）
- 救急車応需率ほぼ100%。初療ベッド7床。広いER
- 一次救急患者は別の受付有（24時間対応）
- 手術室は委託の清掃業者が常駐。入替は最短30分

その他

- モデル病室を作り、職員の細部にわたる要望を設計に反映
- 手術室にSPDを導入
- 職員用フロアに保育園あり
- 免震構造

兵庫県立  
尼崎総合医療センター

# 兵庫県立尼崎総合医療センター

## 【病院概要】

- 平成27年7月 新病院開院
- 病床数:730床(一般714床)
  - ER型救命救急センター:52床
  - 重症対応病床(CCU・NCU等):50床
  - PICU:8床 MFICU:6床 NICU・GCU:27床
  - 無菌室:12床 感染症病床:8床
  - 精神科合併症管理病床:8床
- 手術室:18室
- 敷地面積:約36,575m<sup>2</sup>
- 建築面積:16,607.58m<sup>2</sup>
- 延床面積:83,535.43m<sup>2</sup>
- 構造規模:鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造) 地上11階、地下1階、塔屋2階、屋上ヘリポート



# 兵庫県立尼崎総合医療センター

## 【診療機能等】

### ● 診療科：46科

＜内科系＞ER総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、心療内科、漢方内科、緩和ケア内科、感染症内科、腫瘍内科、膠原病リウマチ内科、精神科、アレルギー科

＜外科系＞外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科

＜小児科系＞小児科、小児外科、小児循環器内科、小児アレルギー科、小児神経内科、新生児科、小児血液・腫瘍内科、小児脳神経外科

＜救急＞救急集中治療科、小児救急集中治療科

＜診断治療部門＞放射線診断科、放射線治療科、病理診断科

### ● 7対1看護配置

### ● 主な病院機能：救命救急センター、小児救命救急センター、地域医療支援病院、兵庫県指定がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、臨床研修病院、第二種感染指定病院

# 兵庫県立尼崎総合医療センター

## 良かった点

外来

- 1階受付で呼出受信機を渡すことで患者は待ち時間を有効に使える
- 外来スペースはホテル並み。飲食店、売店あり。待合スペースから中庭庭園を眺められる
- 各エリアで受付を行う。予約システムが機能している

病棟

- 4床室全病床ベッドサイドに窓設置

救急・手術室

- 病床の約20%が集中治療室系
- 救急車応需率ほぼ100%
- 診療室は眼科、歯科専用各1室を含めて16室。初療ベッド17床。1次用8床、2次用6床、3次用（手術可能）3床。患者情報、担当医師などをホワイトボードで管理
- 救急搬送入口から初療手術室、洗浄室へ行ける
- ドクターヘリ、ドクターカー運用。屋上ヘリポートから直通EVあり
- 初療室とACU病棟が同一フロアにあり、移動がスムーズ
- 手術室中央廊下が二重（各部屋の備品が置けるスペース）
- 手術室コントロールステーションに全室を映したモニタを設置

その他

- 検査前説明は全てクラークが実施（ブース有）
- 免震構造

# 大崎市民病院

# 大崎市民病院

## 【病院概要】

- 平成26年6月 新病院開院
- 病床数:500床(一般486床、結核病床8床、感染症病床:6床)  
救命救急集中治療室:8床 CCU:4床 ICU:6床  
HCU:18床 NICU:6床 完全無菌室:8床
- 手術室:12室
- 敷地面積:32,188m<sup>2</sup>
- 建築面積:11,740m<sup>2</sup>
- 延床面積:48,435m<sup>2</sup>
- 構造規模:鉄筋コンクリート構造(本館:免震構造、エネルギーセンター:耐震構造) 地上9階、地下1階、屋上ヘリポート

# 大崎市民病院

## 【診療機能等】

### ● 診療科：43科

＜内科系＞内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・内分泌内科、神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、肝臓内科、疼痛緩和内科、腫瘍内科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科

＜外科系＞外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門外科、血管外科、脳神経外科、乳腺外科、内分泌外科、食堂外科、肝臓外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、形成外科、内視鏡外科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科

＜その他＞救急科

### ● 7対1看護配置

- 主な病院機能：救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、臨床研修病院、第二種感染指定病院

# 大崎市民病院

## 良かった点

外来	<ul style="list-style-type: none"><li>放射線部門は救急外来と一般外来とで共有（入口は別）</li><li>「フリーアドレス制」による運用</li><li>各外来ブースで保険証確認、会計業務を実施（分散会計方式）</li><li>総合医療支援センターブースはすりガラスになっている（職員の危険が察知できる）</li><li>外来エントランスEVは3枚板で事故の発生なし</li></ul>
病棟	<ul style="list-style-type: none"><li>患者用ラウンジを2病棟で共有</li></ul>
救急・手術室	<ul style="list-style-type: none"><li>初療室3室</li><li>手術室は全室、鏡視下手術ができる設計。廊下も広くした。</li><li>屋上ヘリポートあり</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>人工心肺を付けた患者でも乗れるEV（特注で大きめ設計）</li><li>職員用フィットネスルームあり</li><li>建物は免震構造。エネルギーセンターは別棟で耐震構造</li><li>保育所は病院内（エネルギーセンター）にあり</li><li>省CO<sup>2</sup>先導事業補助金・再生可能エネルギー補助金を受けた</li><li>患者用トイレにこだわった（数、便器の高さ、手すりの位置など）</li><li>建築方式は「デザインビルド方式」を採用</li></ul>

# 石卷赤十字病院

# 石巻赤十字病院

## 【病院概要】

- 平成27年9月 稼働
- 病床数: 464床 (一般426床、ICU・CCU10床、救命救急センター24床、感染: 4床)
- 手術室: 7室 + 外来用1室 + 救急用1室
- 敷地面積: 84, 068. 73m<sup>2</sup>
- 延床面積: 53, 095. 72m<sup>2</sup>
  - (1) 本棟 31, 895. 12m<sup>2</sup>
  - (2) 北棟 14, 977. 75m<sup>2</sup>
  - (3) 災害医療研修センター 6, 222. 85m<sup>2</sup>
- 構造規模: 鉄骨造、免震構造 (一部耐震構造)  
屋上ヘリポート



## 【診療機能等】

- 診療科：27科

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、外科、乳腺外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、小児外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和医療科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、歯科口腔外科

- 7対1看護配置

- 主な病院機能：救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害医療センター、臨床研修病院、第二種感染指定病院、へき地医療拠点病院

# 石巻赤十字病院

## 良かった点

### 外来

- 外来待合スペースに医ガス配管あり（災害時に役立つ）
- 総合相談支援センターで、がん相談、退院調整などを実施
- 外来は、ブロック会計

### 病棟

- 各病棟に薬剤使用の作業スペースあり（机・イス）
- 4床室、2床室、個室を設置。個室割合は約4割
- 1フロア2看護単位
- 建築面積を少なく、採光性を高めるため、病室の形状を工夫している

### 救急等

- ヘリポート 日中は屋上、夜間は地上（職員用駐車場）
- 救命救急センターは24床、救急病棟は25床。救命救急センターの病床稼働率は90%
- ICU10床（個室6床、オープン4床。また、うち2床は陰圧対応）
- 電子カルテと連動したシステムで手術の管理をしている。

### その他

- 建物は免震構造（126個の免震装置を設置）

今回の視察を通して

# 全体を通して参考とすべき点

- 事前部門ヒアリングを充分に行う
- 外来はブース形式をとることで会計までがスムーズに行える
- 患者と職員のスペースを分ける（動線を考慮）
- 救急→手術室・カテーテル室→I C Uの動線が確立している
- 病院全体の配置
  - 1 F: 救急、放射線部門、薬剤、栄養、（内視鏡室は1 Fか2 F）
  - 2 F: 一般外来、検査部門、医事課、地域連携
  - 3 F: 手術室、I C U、管理部門
  - 4 F以上: 病棟
- 各スペースは予算の許す限り余裕を持って設計すべき（建替え後の長い運用を見据えて）
- 設計は使い勝手、見栄えのみならず、その後の維持費等も考慮する必要あり
- モックアップ（原寸模型）を作成し、使い勝手を確認すると良い
- 建物は免震構造とする

# 建替えに向けて今後やるべきこと

- 新築病院に限らず、近隣の同規模で同じような機能を持つ病院（自治体立や公的病院）を視察する
- 院内に委員会を設置し、職員の意見を反映できるようにする

病院内を見学しながら、院長をはじめとした職員の方々に色々なお話をお伺いできて、新病院建設の計画を進めるにあたり、非常に参考となりました。

視察にご協力いただいた4病院の皆さまに感謝申し上げます。